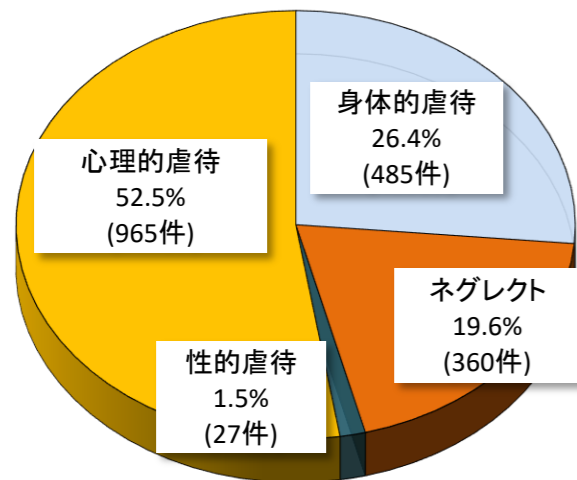
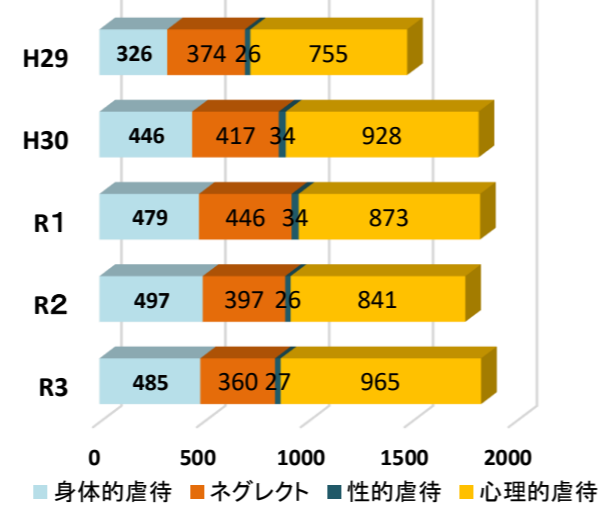


虐待の種類

R3種類別件数内訳



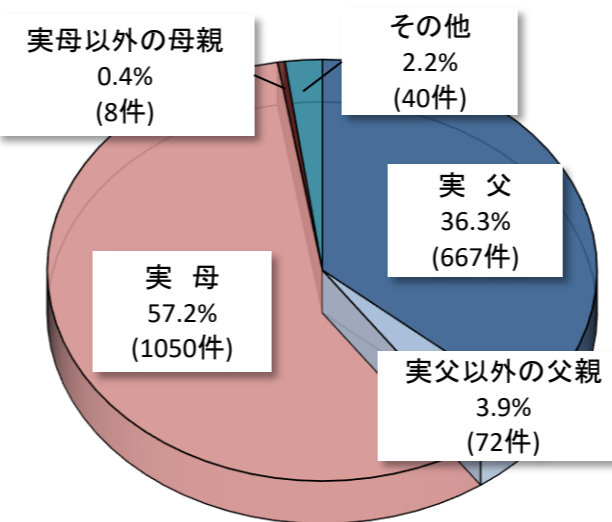
種類別件数の推移



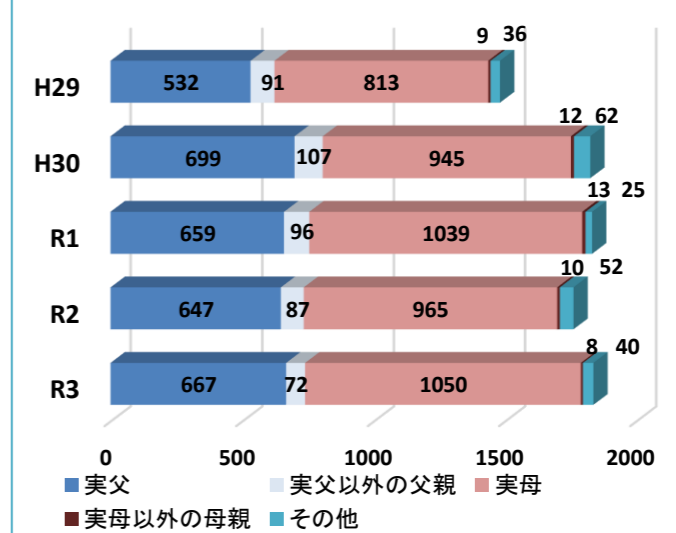
「心理的虐待」の件数が最も多く、次いで「身体的虐待」「ネグレクト」の順に多い。前年度と比較すると、心理的虐待の件数(124件増・14.7%増)が増加し、ネグレクト(37件減・9.3%減)、身体的虐待(12件減・2.4%減)が減少している。心理的虐待の件数については全体の約半数を占めており、前年度と同様である。

主な虐待者

R3主な虐待者の件数内訳



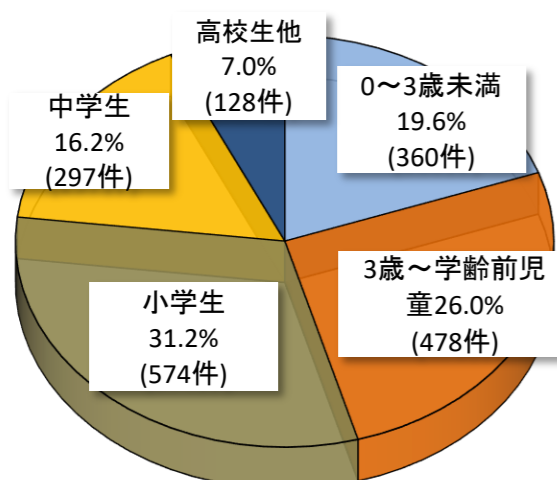
主な虐待者の推移



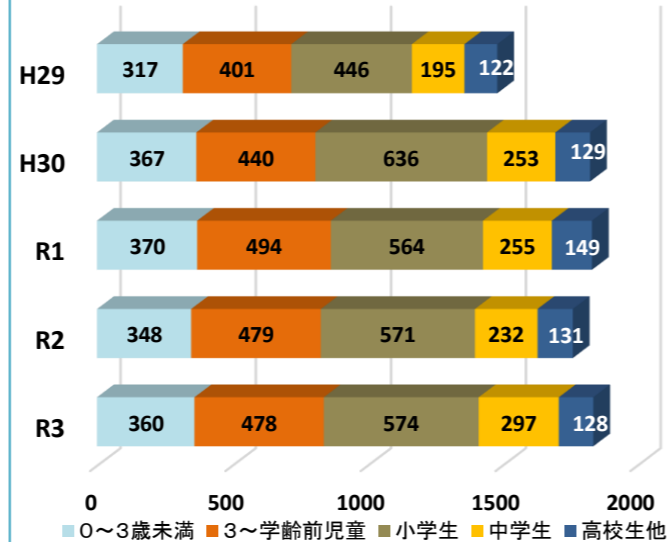
「実母」の件数が全体の半数以上を占め、「実父」と合わせた「実親」の件数が、全体の9割以上を占めている。前年度と比べて割合に大きな変化はない。

被虐待児の年齢

R3年齢別件数内訳



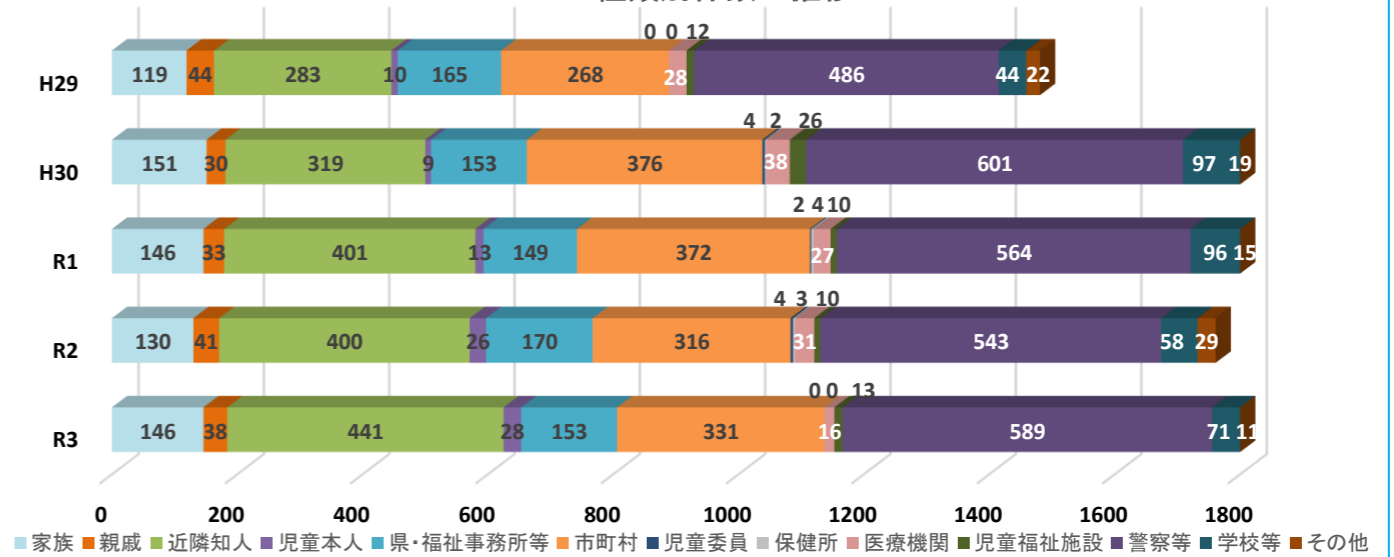
年齢別件数の推移



前年度と比較すると、「中学生」が大幅に増加(65件増・28.0%増)している。年齢別の割合の傾向については、中学生の割合がやや増えたものの、前年度とほぼ同様である。

虐待通告の経路

種類別件数の推移



関係機関からの通告では「警察等」「近隣知人」「市町村」の順に件数が多い結果となっており、また、いずれも前年度の件数と比較すると増加している。とくに「近隣知人」(41件増・10.3%増)及び「警察等」(46件増・8.5%増)が増加している。